

世界のパイナップル市場

FreshPlaza 2023年10月13日

世界のパイナップル市場は最近変動が激しく、主要輸出国であるコスタリカの出荷量の減少が他の市場に影響を与えている。オランダでは、コスタリカでのパイナップルの栽培面積の減少により価格が上昇し、大規模な生産者達に利益をもたらした。イタリアでは、需要が低い中、夏の果実と秋の果実が入荷し、「奇妙」な市場となっている。一方、スペインではパイナップルの輸入が増加し、特に「その他」(乾燥と生鮮以外)のパイナップルが著しく増加した。北米では、コスタリカからのパイナップルの供給は安定しているが、需要は弱いかも知れない。コスタリカ自体では、クリスマスに間に合うように生産が回復している。パナマではパイナップルの需要が高まっており、一方エクアドルの出荷量は最近の落ち込みの後、徐々に増加している。



オランダ: コスタリカでの栽培面積減少で価格が上昇

一般的に、コスタリカからは大量のパイナップルは入手できない。オランダのある輸入業者は「近年の低価格のために、多くの(小規模な)生産者が姿を消し、したがって栽培面積が少なくなっている」と言う。残っている大規模な生産者は、通常量を栽培している。これにより、市場では価格が改善している。一般的な大きさのサイズ5とサイズ6の販売価格は約12ユーロ、(それより小さい)サイズ7は11.50ユーロ、サイズ8は9.50ユーロ程度、サイズ9は9ユーロ、サイズ10は8.50ユーロである。収穫のタイミングの関係で、クリスマス期間中には当然もう少し出荷量が期待されるが、それ以外の時期外れのものはない。色の濃い種類のパイナップルは現在、サイズ5/6/7/8で12.50~15ユーロで販売されている。」

ドイツ: 「地味」なパイナップル市場

パイナップル市場は現在、「地味」だと言える。ある卸売業者は、「目立った販売圧力はなく、船便で入荷した商品の販売は順調に進んでいる。ただ時々品質が少し良くない。主にコスタリカ産の「高品質品」が提供されているが、エクアドル産の標準的な商品もある。後者の売値はいくらか安い」と言う。

他のエキゾチックな産品と同様に、パイナップルは特に寒い季節によく売れる。この業者は「通常11月末から需要が増加する傾向にあり、特にサイズ6とサイズ7は卸売市場で好まれる。一方、わずかに小さいもの(サイズ8)は、食品小売業者に特に適している」と言う。主要品種ではMD2が依然として突出しているが、クリスマスシーズン中は、スイートカイエン(原文のまま)品種のチラシも好評である。

イタリア: 現在「奇妙な」パイナップル市場

現在、パイナップルにとってはあまり良い時期ではない。北イタリアのある有力卸売業者によると、最高品質のパイナップルは現在(第41週の初め(10月9日))1.30~1.40ユーロ/kgで販売されている。これらはそれほど高い数字ではないが、市場は奇妙である。天候の影響でまだまだ夏の果実が多いが、リンゴやナシなど秋の果実も入荷している。パイナップルの需要は低い。

市場に出回っているパイナップルの種類は、グリーンパイナップル、畑で熟したパイナップル、空輸されたパイナップルであるが、ほとんどは船で輸送されたグリーンパイナップルである。パイナップルの小売販売額

の約70%は小売業者によるものだが、(小売業者の中でも)いわゆる八百屋の多くは売れ残りの在庫を抱えてお金を失うことを恐れてパイナップルを扱わない。

GfK消費者パネルによると、イタリアでパイナップルを購入する家庭は約800万世帯である。流通量が変わらない中での価格の上昇は、このインフレの時にパイナップルの販売を支える上で役立っていない。

フランス：パイナップル価格が上昇

フランスのパイナップルの市況は現在上昇傾向にある。今週の平均価格は3.60ユーロ/kgで、先週記録された3.50ユーロ/kgより少しだけ高くなっている。この上昇は、需要のわずかな増加によるものである。全体として、2023年の前半6か月で、販売量は前年同期と比較して5%増加した。エキゾチックな果実への欲求の高まりに伴ってパイナップルの需要が伸び続けるはずであり、したがってフランスでのパイナップル販売の見通しは前向きである。

スペイン：輸入が増加

税務庁関税・物品税局の最新データを参照した詳細な分析によると、1月～7月のスペインのパイナップル輸入は、2022年の同時期と比較して、量で11.4%、金額で9.9%の増加したことが明らかとなった。

今年最初の7か月に、2022年の同時期の8万8,950トンに対して9万9,060トンが輸入され、輸入額は昨年の7,449万ユーロに対して8,187万ユーロであった。

さまざまな関税分類について見ると、「乾燥パイナップル」の輸入は著しく減少しており、2022年1月～7月の323.98トンに対し今年160.58トンとなった。「生鮮パイナップル」の輸入量は2%のわずかな減少となったが、輸入量の大部分を占める「その他」のカテゴリーは14.5%増の約8万4千トンとなった。

北米：コスタリカからの供給が安定した水準に戻る

パイナップルの供給は現在安定している。ある出荷業者は、市場への入荷量は多いが、価格設定は良好で、積極的で、販促可能なものとなっていると報告している。一部はメキシコ産だが、大部分はコスタリカ産である。

昨年のこの時期と比べて、供給と価格は比較的似ている。需要はやや少ないが、それは消費者が財布のひもをいっくら引き締めて、何に金を使うべきか見極めているからかも知れない。

この供給量の水準は、現時点では昨年と似ているように見えるかも知れないが、状況は数か月前とすら異なっている。価格は、夏の半ばから終わりにかけて20ドル台後半であったが、現在は10ドル代前半に戻っている。この高値は、主にその時期のコスタリカからの供給不足によるものであった。今後の価格については、安定するようである。

コスタリカ：クリスマスに間に合うように生産が回復

ある生産者によると、通常大きな供給不足が生じる自然の開花期の後、この国では減少していた出荷量が回復している。業界全体で出荷量が全般的に減少した。出荷量の回復はクリスマスシーズンに間に合うだろうと当地の生産者らは言う。彼らは、ヨーロッパの需要は現時点は高くなく、供給量も多くないと話す。価格も予想されたほど高くはないが、安定している。

パナマ：パイナップルの需要が高まる

パナマは、他の主要供給国から米国とヨーロッパへの供給量が減少しているため、11月末から2月にかけての出荷期間を活用するよう準備している。パナマの生産者らは、複数の最大級の輸出国で現在の需要を満たすのに十分な供給量がないため、現在(パナマ産)パイナップルの需要が増加していると言う。彼らは、パイナップルの需要が11月末から2月にかけてピークに達すると予想している。

エクアドル：出荷量が再び増加

パイナップルの出荷量は、ここ数週間の減少の後、再び増加し始めている。また、主要市場での需要も減少しており、生産が上向き始めているため、今月末には需要が改善することを期待している。